



Pick Up News 2月は、本学において学生一人ひとりの学びの集大成が形となって表れる、非常に重要な時期です。卒業論文・卒業設計発表会、修士論文・修士設計発表会が行われ、月末には建築学展A・(卒業研修制作展)を、せんだいメディアテークを会場として開催しました。学生たちは、これまで積み重ねてきた学びの成果を発表し、次のステップへとつながる貴重な経験を重ねています。

また、現在学生たちは春休みに入り、新年度に向けた準備期間を過ごしています。旅行や建築探訪、資格試験の勉強、コンペへの挑戦など、それぞれが自分の興味や将来と向き合いながら、主体的に時間を使うことのできる大切な期間です。こうした経験を通して、学生たちは視野を広げ、自ら考え行動する力をさらに磨いていきます。

本学では、学内での学びにとどまらず、その成果を社会に向けて発信し、専門家から評価を受ける機会を大切にしています。学生一人ひとりが確かな成長を実感し、自信をもって次のステージへ進むことができる環境こそが、本学建築学部の大きな特長です。

— 特集 在学中の挑戦が実を結ぶ — 在学生4名、二級建築士合格者の声

先月号では、令和7年度の一級および二級建築士試験において多くの卒業生・在学生在が合格し、その活躍を紹介しました。ここでは、先月号に続いて二級建築士試験に合格した在学生の声をお届けします。

二級建築士は、建築を学ぶ学生にとって大きな目標の一つです。在学中にこの資格に挑戦し、合格を勝ち取った学生たちは、日々の授業や設計課題、実習を通して着実に力を身につけてきました。

これから建築を学ぼうと考えている高校生の皆さんにとって、「大学で何ができるようになるのか」「将来にどうつながるのか」は大きな関心事だと思います。本学では、知識や技術を学ぶだけでなく、自ら考え、形にし、社会に生かす力を育てています。資格取得はその成果の一つであり、将来への確かな自信につながります。

- 二級建築士に合格できたのは、日々の授業や演習で基礎を積み重ねてきたこと、そして周囲の支えがあったからだと思っています。学業と並行しての勉強は決して楽ではありませんでしたが、コツコツと継続することの大切さを改めて実感しました。試験勉強を通して、建築を学ぶ面白さと同時に、自分の理解不足にも多く気づくことができ、貴重な経験となりました。今後もこの資格取得を一つの通過点として、さらに知識と技術を深めていきたいと思っています。後輩の皆さんも、自分のペースを大切にしながら挑戦してほしいです。(R. Cさん/3年生)

- この度、二級建築士に合格いたしました。大学院での研究活動と並行しての受験は簡単ではありませんでしたが、今後の進路において必要性を感じ、受験を決意しました。学科試験では、問題集を繰り返し解くことを中心に学習しました。間違えた問題は解説を確認し、同じ内容で再度つまづかないように整理し、解き直しました。製図試験では、問題文の読み取りを丁寧にを行うことと、素早く作図することを重点的に練習しました。本番は想定と異なる点もありましたが、落ち着いてエスキスを見直し、最後まで描き上げることができました。今回の受験を通して、日々の積み重ねが結果につながることを実感しました。ご指導いただいた先生方、資格学校の方々、家族に心より感謝申し上げます。(K. Oさん/大学院博士前期課程1年生)

— 有川 智 教授を偲ぶ —

建築学科教授として14年間にわたり、学内外で広く活躍されてきた有川 智 教授が、病氣療養中のところ、2026年1月25日にご逝去されました。

有川先生は、建築材料・生産分野において「建物の長寿命化」という重要な課題に取り組み、教育・研究の両面から建築学の発展に多大な貢献をされてきました。

また、有川先生はいかなるときも穏やかで誠実なお人柄で、学生一人ひとりに真摯に向き合い、温かく丁寧なご指導を続けてこられました。その姿勢は、多くの学生や同僚教員の深い信頼と尊敬を集めていました。

研究者として、また一人の人間として深く尊敬していた有川先生が、安心して見守ってくださるよう、先生の遺志を継ぎ、今後も教育・研究に真摯に取り組んでいきたいと思えます。(学科長・船木尚己)

Pick Up Lab. 新井研究室では、空き家を活用したまちづくりの実践的研究に力を入れています。これまでは都市部を中心に学生たちと、仙台市内のシェアハウス、塩釜市内のシェアアトリエを、セルフリノベーションやインテリア整備を通して整備してきました。2025年からは宮城県加美町にある半分リノベ済みの物件「かみの暮らし箱」にて、アウトドアが楽しめるゲストハウスなど地域に開かれた利用を目指して、2期改修プランの計画提案と借り手とのマッチング支援を進行中です。それに伴って同物件にてアートイベント等を開催し、その様子をインスタなどで情報発信しています。その他、孤立を防ぐ居場所づくりやコミュニティ形成の実践的研究を災害公営住宅等で展開しています。



セルフリノベしたシェアハウス 中江のワークスペース



かみの暮らし箱でのアートイベント開催 (2025.9.21)



2年 久能 愛斗 さん
福島工業高校 出身

Pick Up Student

皆様元気に過ごしていますでしょうか。私は元気に過ごし間もなく三年生を迎えようとしています。私は春休み修行に飛び出しました。設計課題の中で自分の成長が見えないと言う壁に当たりました。その為は自分自身をレベルアップさせるべく武者修行の道を選びました。設計でお世話になった先生の元で今は共に一つのプロジェクトを進めています。3Dモデルの制作などを教えていただき、学校での繋がりに感謝しながらレベルアップをしています。中でも、お施主様の方と話している中で思い描いている理想像。土地への想い。普段では体験のできない経験を現在させてもらっています。春休みは短いです。なのでみなにもぜひ飛び込め！エスキース！をしてほしいです。



1年 菅原 美緒 さん
黒沢尻北高校 出身

Pick Up Student

大学から建築を学び始め、なんとか高校から建築を学んできた人達に負けたくないよう駆け抜けた1年でした。当初は図面の書き方や模型製作の繊細さに圧倒され、理想と現実のギャップに悩むこともありましたが、しかし、徹夜で仕上げた作品が形になった瞬間の達成感や、友人との対話を通じて多角的な視点を持つ楽しさを知り、今では建築の奥深さに魅了されています。2年次からはより専門的な設計課題が増え、構造や歴史への理解も深まります。後期で設計に時間をかけられず、中途半端な作品になったり、教養科目と専門科目の差が出てきてしまっているため、建築の専門分野に触れること多くしていきたいです。また、初心を忘れず、手を動かし続ける泥臭さを大切にしたいです。